

事 務 連 絡
令和 7 年 12 月 2 日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{保 健 所 設 置 市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right)$ 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医政局総務課

厚生労働科学研究事業に係る協力依頼について

日頃より医療行政の推進に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和 3 年 6 月に取りまとめられた「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」（以下「とりまとめ」という。）において、「薬剤師の従事先には業態の偏在や地域偏在があり、偏在を解消するための薬剤師確保の取組が必要である。」と指摘されているところです。とりまとめにおいて、「対人業務の充実と対物業務の効率化のためには、薬剤師しかできない業務に取り組むべきであり、それ以外の業務は機器の導入や薬剤師以外の者による対応等を更に進める必要がある」と指摘されているところ、医療需要や医師の働き方等の変化、医師等の需給推計方法を踏まえた病院薬剤師の需要推計に資する手法を開発し、病院薬剤師に係わる医療行政の基礎資料の構築を目的として、下記の厚生労働科学研究事業が実施されているところです。

今般、ロボット調剤機器導入による業務の効率化ならびに薬剤師の満足度に関する調査を、下記の厚生労働科学研究班の分担研究として実施することとしました。

研究班事務局からは、各病院薬剤部門の長に対して別添のとおり協力依頼がなされていますが、貴部局からも管内医療機関に対し、本研究への協力について特段の御配慮をいただけるよう、重ねて協力依頼をお願いいたしたくよろしくお取り計らい願います。

記

研究課題名：NDB等を活用した病院薬剤師の確保に向けた業務の効率化と潜在薬剤師の活用に資する研究

回答の期限：令和 7 年 12 月 26 日（金）

研究代表者：安原真人

研究に関する問い合わせ先：室井延之（E-mail：nobuyuki_muroi@kcho.jp）